

MJ進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年7月7日(木) 第16号

「東大」という場所。「東大」を目指すということ。

日本で最高峰の大学「東大」。前女から東大に合格した先輩のほとんどが、最初から「東大」を目指していたわけじゃない。全国に目を向ければ、東大に入るために本気で努力している高校生がたくさんいる。「東大」にはそれだけの魅力があるということだ。能力を最大限発揮すれば、東大に合格する前女生は必ずいる。ただ東大に受かるためには、東大に受かる学力を本番までに身に付けなければならない。東大を目指すには当然早い方が良い。特に2年生、ここでその気になって、一步を踏み出してみないか。「2年夏からギアを上げる」、最高のタイミングだ。

「まさか私が…」と想着いて、腹をくくって最高峰を目指し、今東大生となっている先輩の声を紹介する。



◎Aさん（東京大学 文科一類1年）

結論から言うと、もちろん大変なこともありましたが、私は東大を目指して良かったと想着います。

私はもともと一橋大学志望でした。2年で先生方から東大を勧められた時はとても悩みました。東大志望になるということは歴史（日本史・世界史）を2科目やらなければならないし、日本で一番の大学なんて私には到底無理だと思着いました。それでも私が東大を目指すことに決めたのは、自分のタイプに合っていたことです。東大は国数英日世の5科目を二次試験で使います。私は定期考査の時から全ての教科をまんべんなく勉強することが得意だったし、飽きっぽいので少ない科目をずっとやり続けるのは苦手でした。こういう私の勉強スタイルが、バランス型の東大に合っていたというのが一番の決め手です。受験期も色々な教科に触れられたのでそんなに苦痛にならず勉強できていました。

東大に決めてよかったことを2つ伝えます。一つ目は3年の授業で「世界史B」を少人数で受けられることです。少人数で受けることで緊張感が生まれて必然的に集中するし、先生にも質問しやすいし、他のみんなも東大を目指す人が多くレベルが高いので私は勝手に世界史の点数を競っていました(笑)。これは2科目選択の最大のメリットだと思います。東大クラスで受けた世界史の授業はめちゃ楽しかったです。

二つ目は他の友達に自分の志望校を公表することになるということです。メリットと言着て良いのかわかりませんが、私にとってはメリットでした。前女の子達は自分の志望校を隠しがちですよね(ちなみに他校では公表するのは当然だそうです)。でも私的には東大クラスに入ることで「絶対に東大に合格したい！」という気持ちが前より強くなり、勉強に打ち込めたように思着います。

これを読んでる皆さん（特に2年文系の生徒）は東大志望にするかどうか、つまりは歴史を2科目とるかどうかが迷っているかもしれませんが、でもよく考えてみれば、歴史2科目で受けられない大学はないです（東大以外の大学になったとしても大丈夫という意味です）。一回腹をくくって東大志望にすれば、「やるしかない」という決意が生まれて自然と「東大に行きたい！」という思いもついてくると思着います。東大に来てみた今、東大志

望にしたことに後悔は一つもないです。前女の先生達は信賴して大丈夫なので思い切って東大を目指してみるのは絶対にいいことだと思います。夏休みに前女に行く予定なのでもし直接聞きたいことがあれば、先生に言着てみてください。

◎Bさん（東京大学 法学部法律プロフェッションコース3年）



○東大の魅力

- ・ほぼ全員が生粋の第一志望の大学なので口ではなんやかんや言着つつも、だいたいみんな東大のことが好き。
- ・一緒に勉強しようとして並走してくれる。勉強会が結局話しているだけで終わってしまうとかもなく、まじで勉強する。
- ・浪人しても浮かない。
- ・先輩が優しい。どこの学校でもそうかもしれないが、と

にかく優しい。1聞くと10以上返ってくる。LINEで軽くした質問に数枚にわたるGoogleドキュメントが返ってくる。同輩も優秀なので、周りに頼れる人が沢山いるため、勉強面で困ることはほぼないと思う。勉強したいならもってこいの環境。もちろんメリハリのついている人が多いからいわゆる大学生らしい遊びも楽しめる。

○東大に挑戦すること

- ・自分のキャパシティーを広げるという意味で、いい経験になると思う。結果はどうであれ、東大受験の経験はこれから先の人生において無意味なものにはならないと思う。
- ・東大に行くのが当たり前と考えている人種もいる。大して受験勉強らしい受験勉強をせずに合格してきた人種もいるが、そういう人は大抵小学生の時に勉強を頑張ってきた人だから、「みんなどこかのタイミングでめっちゃ努力している」の精神で受験した。

○2年生文系のみなさんへ～日本史・世界史選択にするメリット～

- ・大学に入ってから授業で、明らかに日本史世界史履修済みの方が有利だったり、それらの知識が前提にされていたりするので、どっちもとっておくに越したことはない。
- ・東大志望にすれば「この教科2次試験まで使わないしなあ」とならないので、どちらも最大火力でぶん殴ればいいだけだから、「最近倫政に時間かけすぎかも……」とか考えなくていい。東大を目指すメリットにも挙げられるが、全科目全力でぶん殴るという脳筋バーサーカームーブができるのは考え方によっては楽。
- ・世界史の授業が少人数なので、仲間意識が芽生えやすい。

◎Cさん（東京大学 工学部建築学科3年）

前女は全体的に現役志向だし、女子校で親も現役で行くものだと思着ているから、失敗したらあとがない、みんなに遅れちゃうと考えてなるべく安全圏へというのも東大を選択できない一因にあるかなと思着います。（それはどうしようもないことかもしれませんが…）現役時代すごく思着いました。だからと言着て浪人も選択肢に入れろとは言えませんが、都内の中高一貫生や地方トップの進学校は東大目指して浪人している先輩がいる分その選択肢（浪人してでも東大を目指す）もありながら現役で東大目指してるなって感じました。

東大は凄いいけど、届かないところじゃないです。定期テストや模試にむけて日々コツコツ頑張っていれば部活週7（私はギター・マンドリン部でした）でも入れます。ぼけぼけ～っとしている私でも入れました！東大は本当に周りの人が凄い人だらけだし、入ってからも進む学部を努力次第で変えられることができるのがとても魅力的です。【→補足へ】

日本史・世界史選択にすることは大変！って思着うかもしれませんが、一度東大をめざしてしまえば他の大学に志望を変えることは簡単です。2年生は世界史と日本史を両方やってると思着いますが現社がなくなる分3年からはちょっと楽になります。それに世界史や日

本史単体でみたら一橋大学よりも解きやすいこともあります。

入試は満点を目指すものではありません。ひとつの教科が苦手って人でも他の教科でカバーすれば合格点が得られます。日本史世界史選択でなければそのスタートラインにも立てません。私も2年次、東大に行きたいとは考えていました。でも、いざ選択を迫られると「うわ～きつ」とか「京大志望にして社会科目ひとつにしようかな」と考えましたが、「まあ取ってみて辛くなったらかえるか～」って考えてやっているうちに最後の方になってくると世界史にも日本がでてきて楽しくなりました。

死ぬ気で1年頑張れば前女生ならどこでもいけます。是非東大も視野に入れてみて下さい！

【進路指導部補足】Cさんは1浪して文一に合格。「進振り」で建築学科に進みました。



「東大の学びと大学生活」

◎Aさん（東京大学 文科一類1年）

□大学1年Sセメスター＊時間割

☆必須科目

	月	火	水	木	金
1限		☆英語中級	法Ⅰ		
2限	☆スポ身			☆フランス語二列	国際関係論
3限	政治Ⅰ	☆フランス語初級(演習)			
4限	☆フランス語一列	☆英語一列	☆情報		☆初ゼミ
5限		心理Ⅰ	フランス語表現練習	心身の実践科学	世界史論

○授業について

※ S セメスター S=Spring、A セメスター A=Autumn

1年生の必修科目のうち、(たぶん東大だけがやっている)初ゼミとALESAという2つがあります。初ゼミは研究論文を自分で作成するもので、ALESAは英語で論文を書きます。ちなみにALESAはとても大変だそうです。私はAセメスター＊にあるので今は安心していますがそのうち苦しむことになりそうですね。

私のイチオシの授業は「国際関係論」です。これはほんとに楽しいです！講義の内容は、アナーキーとしての国際社会における規範や国際制度について考えたり、主権国家体制下での各国の行動を国内政治体制やアイデンティティの面から捉えたりします。心理や政治も楽しいです。心理は錯覚や認識について、政治は法学部で学ぶ基礎的な政治論をやっています。私は高校の時に世界史が好きだったので世界史論の授業もとっています。世界史の都城国家における共通点などを考えたりします。各国史におさまらない大きな枠組みで見る世界史は楽しいです。あと、水5の「フランス語表現練習」のフランス人の先生は、今まで出会ったことないくらいハイテンションで生徒にだる絡みしてきます(笑)。ちょっと、いやかなり変人だけどある意味面白いので楽しんで受けてます。

○大学生活について

今年は対面授業が復活したので毎日大学に行けています。東大ではクラスごとに授業を受けることも多いので、クラスの友達はみんな仲がいいです。サークルはバドパ(バドミントン)、Boiled (ダンス)、FairWind、ディズニーサークルの4つに入っています。サークルにたくさん入っておくとコミュニティが広がって友達が増えるので、とりあえず興味がある

サークルに入っておくのをオススメします(笑)。ちなみに、私達のクラスではクラス内サークルというものが流行っていて、空きコマにお洒落なカフェでご飯食べたり、近くの公園でピクニックしたりしています。一人暮らしをしていることもあり、毎日自由に時間が使えるので本当に充実した生活を送れています。

一応勉強についても少し教えておきます。必修・準必修以外は自分の好きな講義を取ることができるので、基本的に講義を聞いているのは楽しいです。ただ内容が高校の内容に比べてかなり難しいので、理解するのが大変です。また第二外国語は「進振り」に関わる重要な科目なので勉強時間を多めに割いています。ただ私にはフランス語の文法が難解すぎたので、優秀な友達にいつも教わっています。最近やっと文法がわかってきて、フランス語に対するモチベを生み出すことに成功しました。わからないところがあれば誰かしら教えてくれるの



で、東大でよかったなと心の底から思っています(笑)。私は文科一類からそのまま法学部に進学する予定なので、省庁か民間企業のインターンに一年のうちにいくつか行きたいと考えています。とはいうものの省庁のインターンは選考が厳しすぎて全然受からないので頭を抱えています(笑)。

◎Bさん（東京大学 法学部法律プロフェッションコース3年）

□大学3年前期時間割

☆必須科目

	月	火	水	木	金
1限	☆民法2部	☆商法1部	☆刑法2部		
2限		民法4部	☆行政法1部	☆商法1部	
3限	☆行政法1部				☆刑法2部
4限			☆民法2部	☆民法基礎演習	民法4部
5限					

○授業について

東大の後期課程、つまり専門に進むと、自分の興味のある分野だけで時間割を構成することができます。私はコースの関係上、ほぼ必修で埋まってしまっていますが、コースによってはもっと自由に履修を組むこともできます。

○○法○部という授業はいわゆる講義形式で、民法基礎演習のみ学生側からも発言する双方向型の授業になっています。教授によって授業スタイルや教え方が異なり、端々から教授の考え方が滲み出ているのが面白いです。どの先生も質問対応が丁寧で、常時質問を受け付けている方や、質問対応のための時間を作ってそれ用のzoomを開いてくださる方もいます。

○東大法学部

法学総合コース(1類)、法律プロフェッションコース(2類)、政治コース(3類)の3つに分かれていて、法曹を志す人は2類(私はここ)、官僚を志す人は3類、それ以外の人は1類に所属している印象が強いです。必修科目や選択必修が違っただけで、ほぼ同じ授業を受けられるため、コースごとの隔たりはそれほど小さくなく、法曹を目指しているが1類に所属しているという人もおり、進路等にあまり影響はありません。

ゼミはまた別にあります。今期私は所属していないので何とも言えないのですが、民法基礎演習では30人程度の少人数(他の授業は数百人単位)で構成されているのため飲み会が企画されたり、これは先輩から聞いた話ですが、ゼミで教授のお子さんと水族館に行ったりしたそうで、少人数双方向の授業では、講義形式の授業と比べて、学生と教授の距離、学生同士の距離が近いのが特徴です。